

DW-SF451B  
食器洗い乾燥機

# 据付け工事説明書

## 工事をされる方へのお願い

- 本機は、(財)電気安全環境研究所(JET)より『給水装置の構造及び材質の基準(厚生省令)』に適合するとの証明を受けています。このため、給水装置への接合に際し、逆止弁等の設置は必要ありません。なお、JETは、厚生省の「給水装置に係る第三者認証機関の業務等の指針」に示された要件を備えた第三者認証機関のひとつであり、他に(社)日本水道協会等があります。
- 電気工事はすべて電気設備技術基準に準じて、行ってください。
- 設置工事終了後、**設置工事後の点検**のチェックリストにもとづいて必ず再確認を行ってください。
- この説明書は工事完了後、お客さまにお渡しください。
- 配管工事は全て水道法、貴都市の条例・規定に準じて行ってください。
- 製品の機能が十分発揮されるように、この据付け工事説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- 据付け工事に関してご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店にご相談ください。

## も く じ

安全上のご注意	2
各部の名称および寸法図	3
付属品の確認	3
設置場所について	4
電気工事について	5
給・排水工事について	6
設置工事について	8
給水(給湯)接続、排水温度クールダウン設定	14
試運転	15
異常報知について	15
試運転後の作業	16
設置工事後の点検	16
仕様	16
お客様への取扱い説明	16

# 安全上のご注意

※必ずご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、商品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度ごとに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。絵表示についての詳しい説明は下記のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。



**警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例



△ 記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は特定しない一般的な使用者の行為の強制）が描かれています。

## 警告



分解禁止

- 修理技術者以外は、絶対に分解・修理は行わないでください。

発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



コンセントは専用で

- 交流100V、15A以上の専用コンセントを単独で使ってください。

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



アース線接続

- アースを確実に取り付けてください。

故障や漏電のときに感電する恐れがあります。



水かけ禁止

- 水につけたり、水をかけたりしないでください。

ショート・感電の恐れがあります。



ほこりをふく

- 電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよく拭いてご使用ください。

火災の原因になります。



火気禁止

- 火のついたローソク、蚊取り線香、煙草などの火気や、揮発性の引火物を近付けないでください。

変形や火災の恐れがあります。



禁止

- 電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を乗せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



禁止

- 交流100V以外では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

## 注意



使用禁止

- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。

感電・ショート・発火の原因になります。

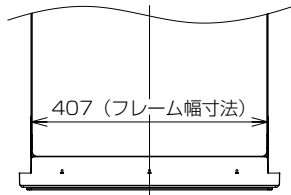
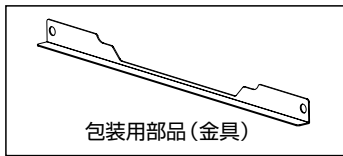


プラグを持って抜く

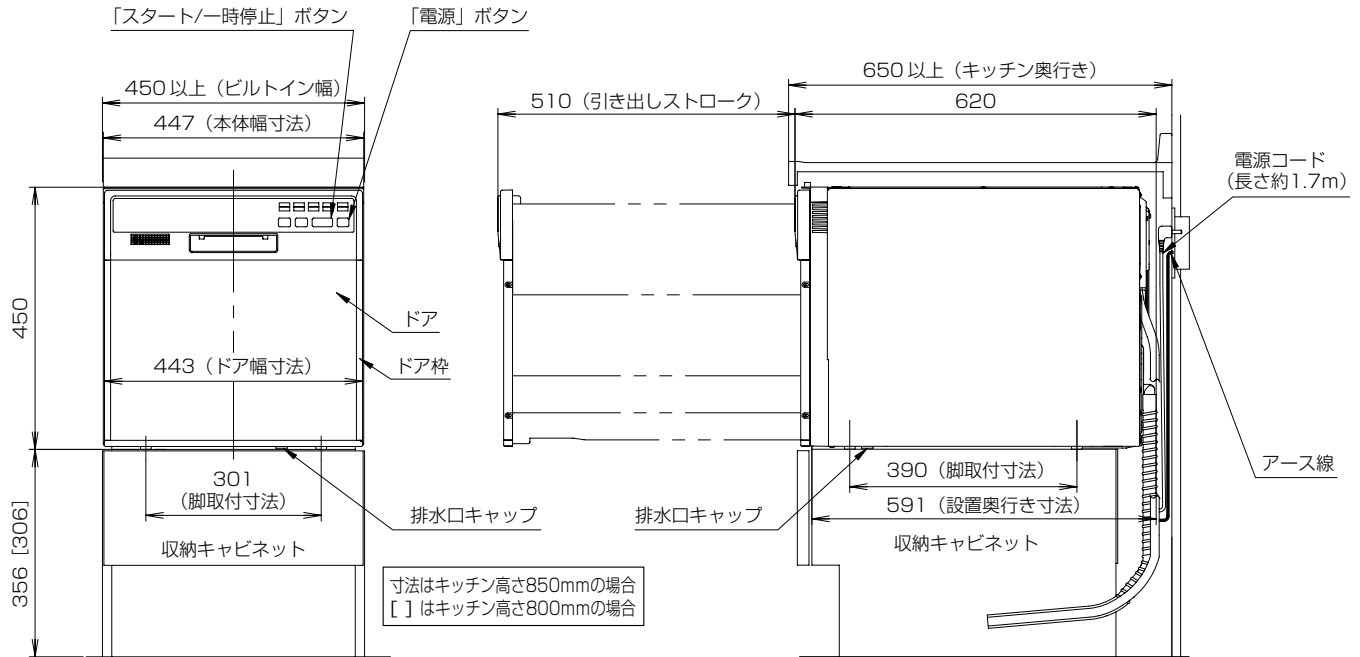
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。

感電やショートして発火することがあります。

# 各部の名称及び寸法図（単位：mm）



- 本体に使用しているテープ、および食器カゴを固定しているテープや、ビニール針金などは全部取り外してください。
- ドア下部裏側に左図のような包装用部品（金具）が付いていますので取り外してください。
- 本説明書は下図に示す収納キャビネットが事前に設置されているのを前提にしております。
- 本機を設置する場合は下図の設置寸法をお守りください。（離隔距離については0mmで消防法の基準に適合しております。）
- 本機の据付けには奥行き650mm以上のキッチンが必要です。（奥行き600mmのキッチンには設置できません。）



※本機的设计は機種により若干異なります。

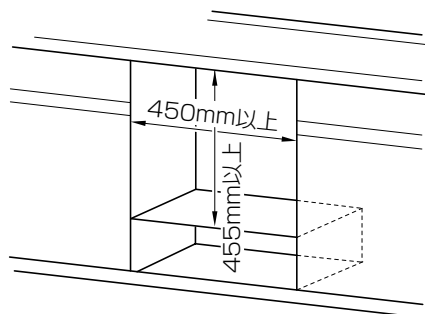
消防法 基準適合 組込形

## 付属品の確認・据付け工事を始める前に、付属品の有無を確認してください。

①前ズレ防止金具 1個  商品の固定用	②倒れ防止金具 1個  商品の前倒れ防止用	③ホースバンド 1個  排水ホース固定用	④フィルター 1個  給水（給湯）ホース接続用（フィルター兼用パッキン）
⑤スペーサー白 2個  21mm	⑥スペーサー黒 2個  5mm	⑦排水ジョイント 1個 〔ホースジョイント〕のセット 〔ホースバンド（2個）〕  排水管接続用	⑧型紙 1枚  固定金具位置決め用
⑨パッキン 1枚  商品とキッチンカウンターのスキマ用	⑩ネジ 4本（木製収納キャビネット用）  4×14 倒れ防止金具固定用 前ズレ防止金具固定用	⑪ネジ大 2本  4×20 前ズレ防止金具固定用	⑫平ワッシャ 2枚  6×13×1 前ズレ防止金具固定用
	⑬ネジ小 4本（ホーロー製収納キャビネット用）  4×10 倒れ防止金具固定用 前ズレ防止金具固定用		

# 設置場所について

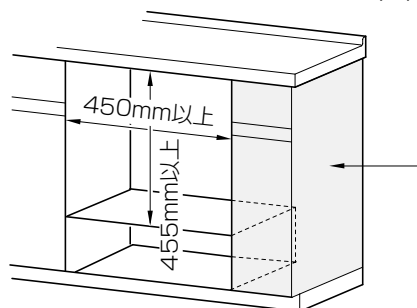
## 中間にビルトインする場合



## 片側がフリーの場合

- 片側がフリーの場合、幅150mmキャビネット等を使用して、カウンターを支える処置をします。

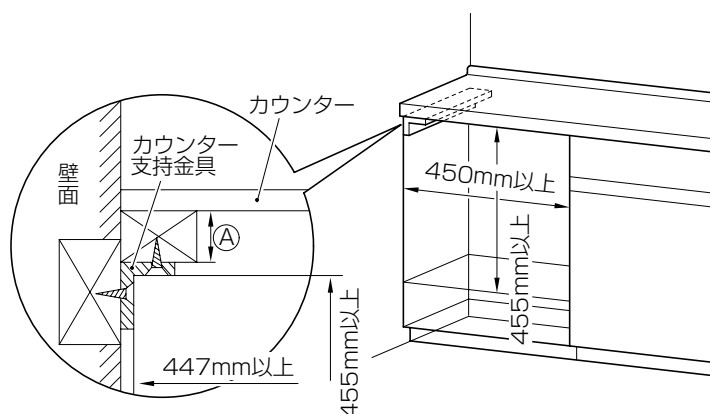
150mmキャビネットを使用



## 片側が壁面または、トールユニットの場合

- カウンター支持金具は市販のL金具を使用します。

※締結ビスの長さは、右図の①寸法より5mm以上短くして、カウンターの金属部に接触させないでください。電気設備の技術基準167条により義務づけられています。

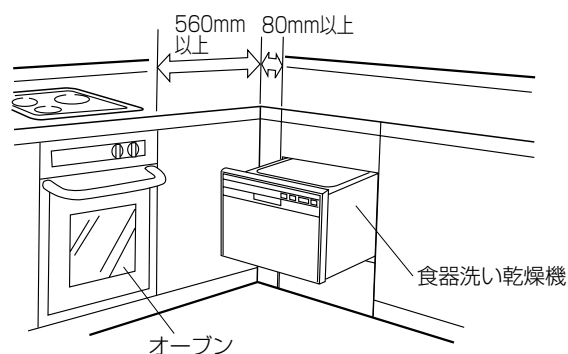


- ビルトイン型加熱機器等と並べて設置しますと、カウンター上に荷重をかけた時、たわむことがありますので、補強処置を施してください。(市販のL金具を使用します。)

## お願い

- キッチンがL型配列の場合、食器洗い乾燥機をコーナー部に設置すると、オープン等の位置によっては本機のドアを開閉する際にオープンの取っ手部に当たったり、故障修理の際に本機が引き出せない場合がありますのでドア開閉のスペースを確保してください。

※本体の金属部が、家屋の壁中のラスや金属板、流し台のステンレスカウンターと電氣的に接触しないようにしてください。電気設備の技術基準第167条により義務づけられています。



# 電気工事について

## ■工事は全て電気設備技術基準に準じて行ってください。

(電気工事、アース工事は電気工事士の有資格者が行うよう法令で定められています。)

- 電源回路は100V、15A以上の専用回路が必要です。

### ⚠警告



コンセントは  
専用で

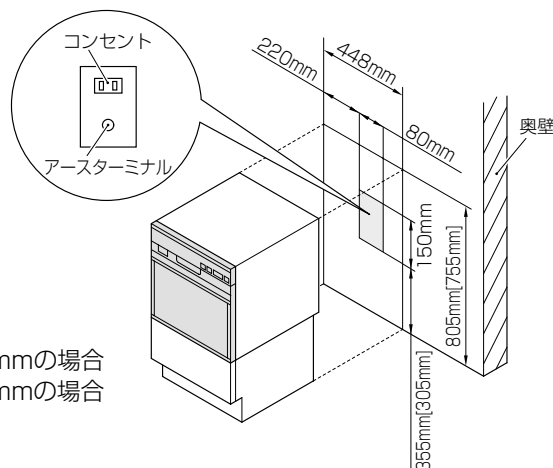
- 交流100V、15A以上の専用コンセントを単独で使ってください。

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

- 本体を設置する場所の背壁に、給・排水工事部分を避けた図の位置に埋込みボックスを設け、これに電源電線、アース線を配線します。

- 125V、15Aのアースターミナル付埋込みコンセントを使用してください。(コンセントは壁面に必ず固定します。)

- アース工事を必ず行ってください。(アースは法令上必要です。)



寸法はキッチン高さ850mmの場合  
[ ]はキッチン高さ800mmの場合

### ⚠警告



アース線  
接続

- 万一の感電防止のため、アース線を確実に取り付けてください。また、アースのほか漏電ブレーカー(定格電流20A・感度電流30mA)の取り付けをおすすめします。(詳しくはお買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。)

※アースの付けはずしは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

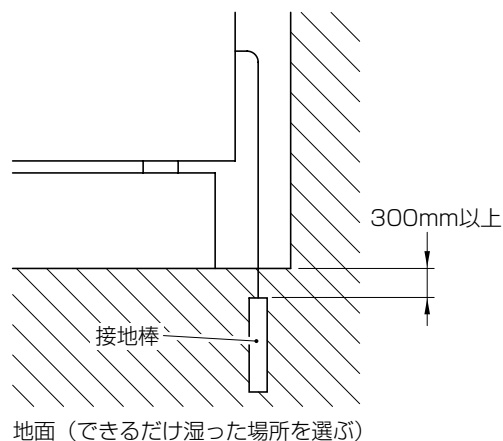
- 水気や湿気の多い所および屋外に設置する場合は、電気設備技術基準に基づき、必ず電気工事士によるD種接地工事を行ってください。なお、水気のある場所では、このほかに必ず漏電遮断器を取り付けてください。(法令で定められています。)

- 接地棒を使用される場合、アース工事は必ずお買い上げの販売店か電気工事店にご依頼ください。(電気工事士の有資格者がD種(第3種)接地工事をするよう法令で定められています。)

- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線に接地は絶対に接続しないでください。(法令等で禁止されています。)

- アース端子付きコンセントを利用される場合は、接地抵抗値(100Ω以下)をご確認ください。

- 設置場所の変更やご転居の際には、再度アースの取り付けをしてください。



# 給・排水工事について

## ■本機は配管直結タイプですので設計及び施工工事の段階で給・排水の位置決めを正確にしてください。

- 本機は(財)電気安全環境研究所(JET)より「給水装置の構造及び材質の基準(厚生省令)」に適合するとの証明を受けています。このため、給水装置への接合に際し逆止弁等の設置は必要ありません。
- 給湯(給水)管は硬質塩化ビニルライニング鋼管(相当品)を使用して、断熱材を巻いてください。(給湯の場合は必ず耐熱配管にします。)
- 排水管の種類によって排水クールダウンの設定をしてください。(排水温度クールダウンの設定はP.14を参照してください。)
- 耐熱塩化ビニル管使用時は耐熱用の配管用接着剤を使用してください。
- 給・排水配管の端面はバリのないよう処理し、かつ管内に残っている異物(切り粉など)を完全に除去してください。配管つまりによる故障の原因となります。
- この食器洗い乾燥機の使用できる給水圧力、または給湯器の水圧は0.03~1MPa(0.3~10kgf/cm<sup>2</sup>)の範囲ですが、配管の状態によっては、圧力が上昇する場合がありますので0.6MPa(6kgf/cm<sup>2</sup>)を超える場合は減圧弁を取り付けてください。

### ⚠ 注意



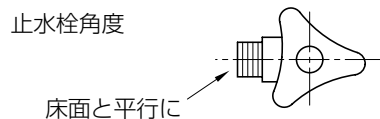
- 高水圧地域では給湯器に所定の減圧弁を必ず取り付けてください。水もれの原因になります。

## 1 配管工事の工事

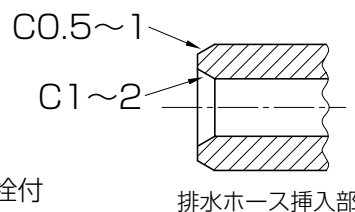
- 各市町村の条例等により逆止弁を取り付ける場合で、本機の配管の近傍にシングルレバー水栓がある場合は、本機もしくはシングルレバー水栓の配管に減圧弁か、ウォーターハンマー防止器を取り付ける。  
(水栓の急閉時のウォーターハンマー現象により逆止弁の下流側の本機や本機の配管に異常な高水圧がかかり、本機の故障や水もれの原因となるためです。)

- アングル型止水栓(ハンドル式、固定ゴムタイプ)を必ず取り付けてください。(止水栓はとじた状態で、出口は床面と平行に)

- 排水管HT20(VP20)の排水ホース挿入部の端面内周に、面取り(C1~2)を施してください。端面外周には面取り(C0.5~1)をつけるとホースの挿入が容易になります。



※冬季長期間留守し、凍結が心配される地域に設置される場合は水抜き栓を有した寒冷地仕様の止水栓を取り付けてください。

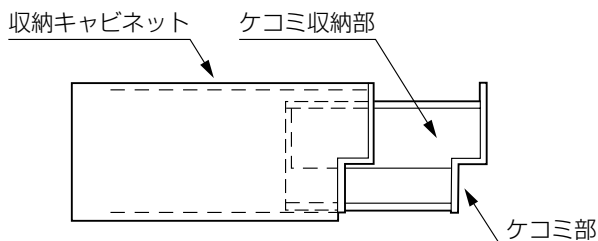


〈一般地域仕様〉 〈寒冷地仕様〉  
アングル型止水栓

## ■給・排水管の施工位置について

- 収納キャビネットの種類(ケコミ部まで引き出しがあるもの)によっては、給・排水管の位置は本機の据付工事説明書のものと異なる場合があります。

※必ず収納キャビネット側のカタログまたは施工図面、設置説明書などに基づいて施工してください。



- 給水接続か給湯接続かお客様に確認した上で施工してください。
- 給湯は中型以上の深夜電力利用温水器、石油給湯器、10号以上の先止め式給湯器等で60℃以下の温度に調整可能な機器に接続してください。
- ※給湯温度が60℃以上にしか設定できない場合は、給水側に接続してください。
- 小型深夜電力利用温水器には接続しないでください。  
本機へ給湯されない恐れがあります。

### ⚠ 注意



- 元止め式湯沸器には接続しないでください。  
本機へ給湯されなかったり、湯沸器からの水もれの恐れがあります。

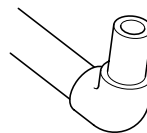
### 配管例

- ※印寸法は必ずお守りください。排水ホースが折れ排水不良の原因となります。  
配水管の途中での立ち上げ、延長はしないでください。排水不良の原因となります。



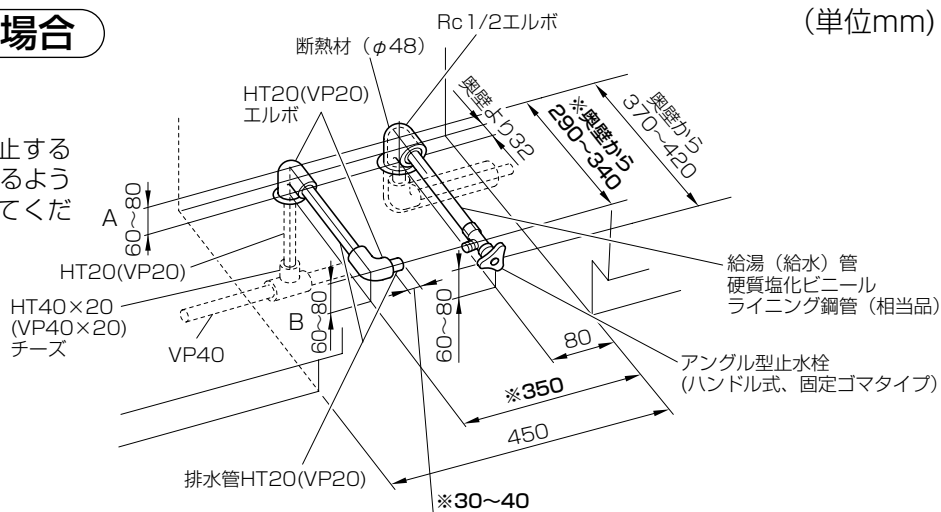
禁止

- 排水管先端のエルボを上向きにしないでください。  
排水ホースの折れの原因となります。



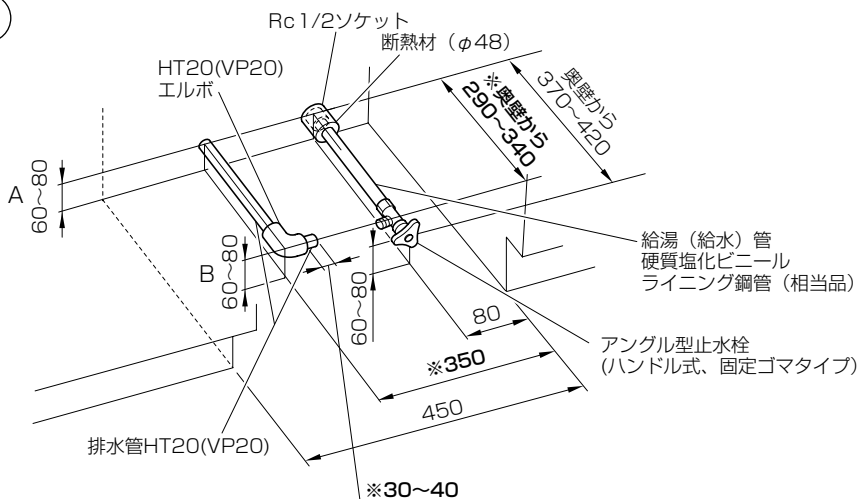
### 床立ち上げの場合

排水の逆流を防止するためにA≦Bとなるように配管工事をしてください。

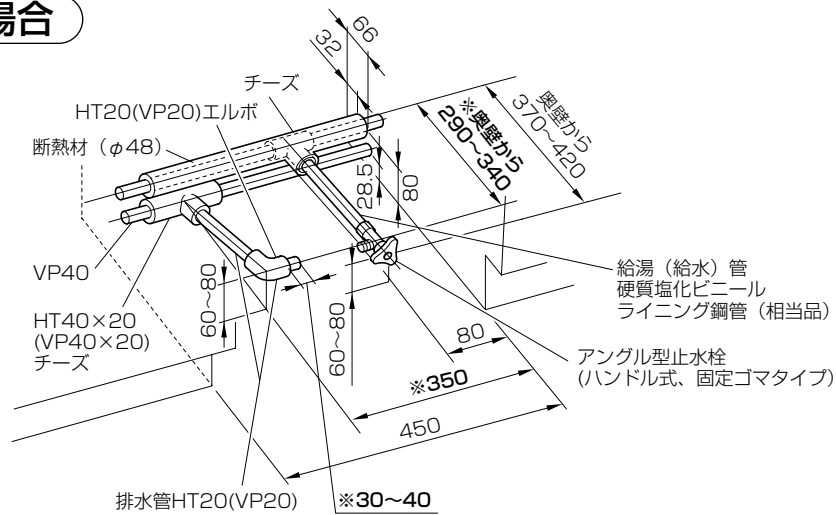


### 壁出しの場合

排水の逆流を防止するためにA≦Bとなるように配管工事をしてください。



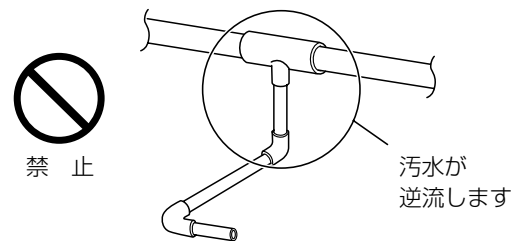
床ころがしの場合



悪い排水配管例や接続例

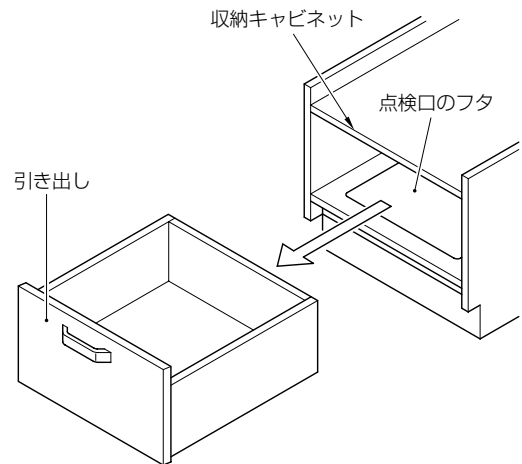
右図のような配管及び接続をすると、十分に排水できなかつたり、機器に逆流したりする恐れがありますので、絶対しないでください。

● チーズ下向け設置

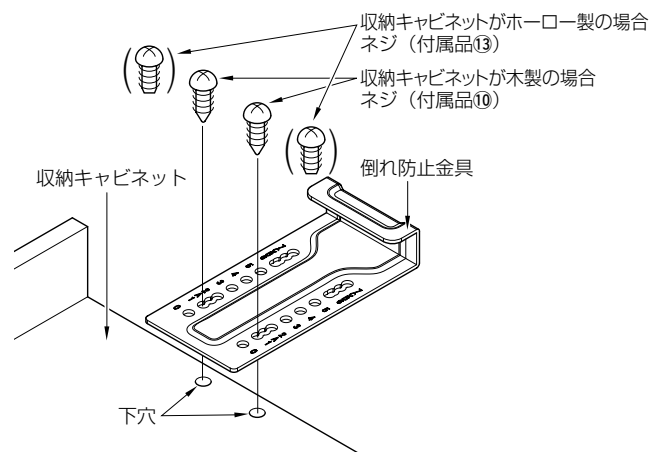


設置工事について

- 本機の据え付け予定場所に事前に設置されている収納キャビネットの引き出しを取り外します。
- 引き出しを外すだけで内部に配管が見える場合は、他に取り外す部材はありません。
- 引き出しを抜いた内部の底面に点検口のフタがあるものは、これを取り外します。(点検口の中に配管が見えます。)
- 取出した引き出しおよび点検口のフタは「試運転」終了まで取り外した状態にしておきます。



- 倒れ防止金具(付属品②)を型紙(付属品⑧)を使い、この型紙に記載されている説明に従って2本のネジで収納キャビネットに取り付けてください。
- ※この時、電動ドライバーは使わないで手締めしてください。(ネジ山がつぶれて締まらなくなる恐れがあります。)
- ※収納キャビネットの種類によって使用するネジが異なります。右図にしたがってネジを選んでください。





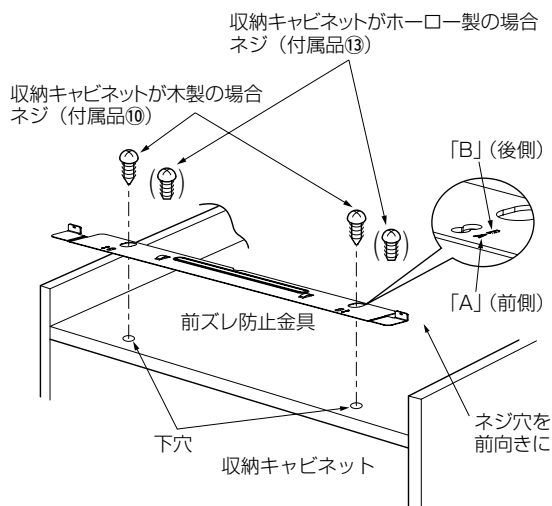
3 前ズレ防止金具の取り付け

●前ズレ防止金具（付属品①）を型紙（付属品⑧）を使い、この型紙に記載されている説明に従って2本のネジで収納キャビネットに取り付けてください。

前ズレ防止金具の締め付け穴記号は、下記に従って選んでください。

- 木製収納キャビネット……………「A」（前側）
- ホーロー製収納キャビネット…「B」（後側）

※この時、電動ドライバーは使わないで手締めしてください。  
（ネジ山がつぶれて締まらなくなる恐れがあります。）  
※収納キャビネットの種類によって使用するネジが異なります。右図にしたがってネジを選んでください。

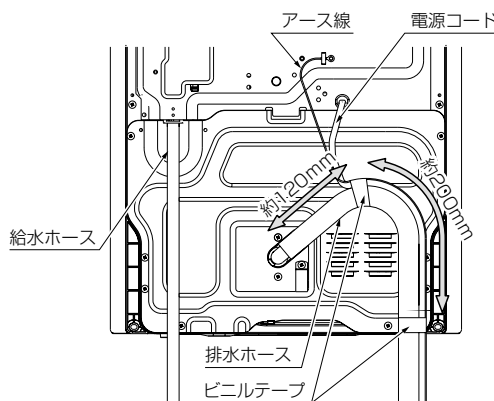


●本体後面の給水ホース、排水ホース、電源コード、アース線を図のようにビニルテープ等で2箇所束ねてください。

※本体をビルトインする時に、作業がしやすくなり、また、電源コードやアース線、給水ホース、排水ホースが倒れ防止金具にかみ込まないようにする為です。必ず行ってください。

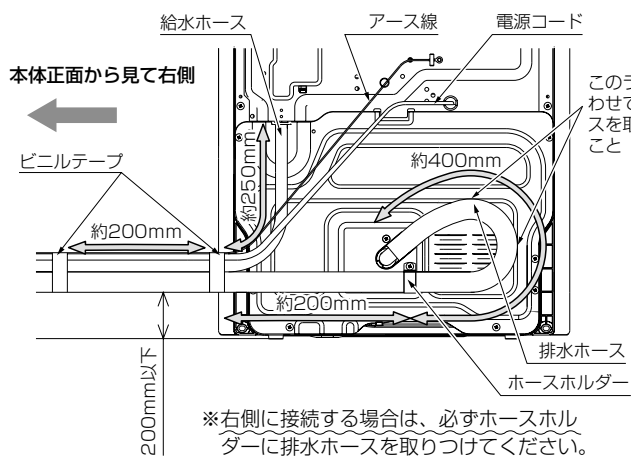
※図寸法を必ずお守りください。  
排水ホース折れ、排水不良の原因となります。

収納キャビネット下側に配管接続する場合

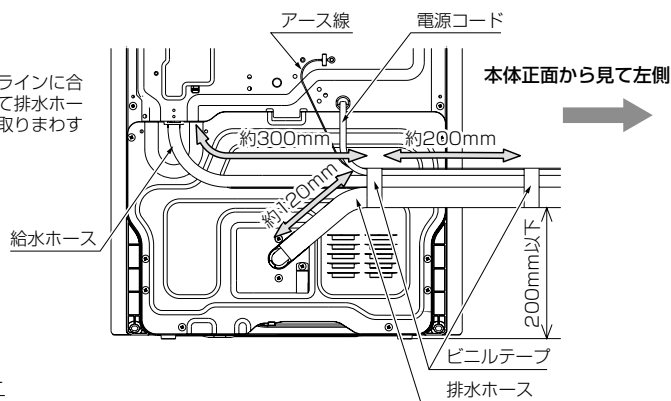


シンク下に設置する場合

右側に配管接続する場合



左側に配管接続する場合



※右側に接続する場合は、必ずホースホルダーに排水ホースを取りつけてください。  
（出荷時は取りつけていません）

排水ホースの途中での立ち上げは200mm以下にしてください。排水不良の原因となります。

4 ホース、コード類の結束

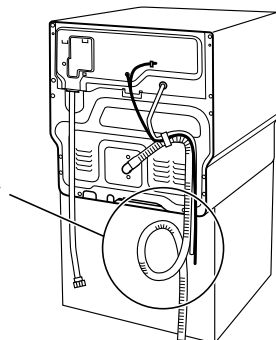
悪い排水ホースの処理例

右図のような配管及び接続をすると、十分に排水できなかつたり、機器に逆流する恐れがありますので、絶対しないでください。

●排水ホースのループ巻き接続

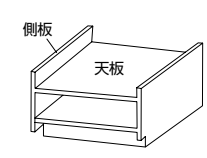
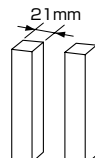
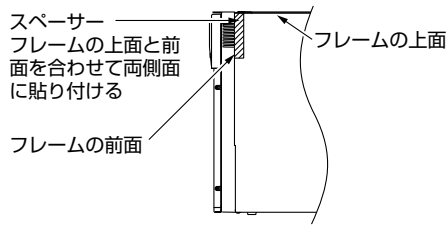
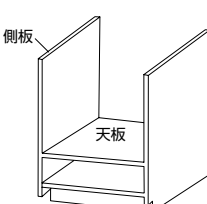
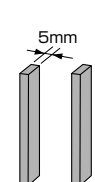
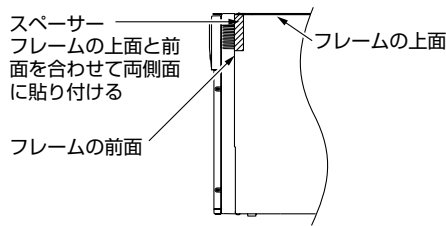


排水が十分に出来ません



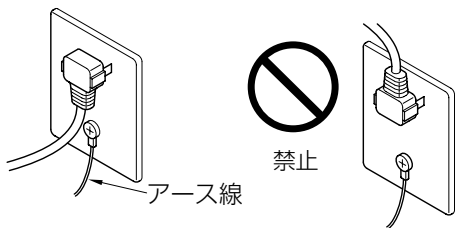
5 スペースの貼り付け

- ビルトイン後、本体が横方向に移動しないようにするため、同梱のスペーサーを本体の左右側面にしっかり貼り付けてください。
- 設置されている収納キャビネットの側板の高さにより、使用するスペーサーおよびその貼り付け位置が異なります。下表に従ってスペーサーを選び、正しい位置に貼り付けてください。

収納キャビネットの形状	使用するスペーサー	貼り付け位置
側板が低い 	白色 	
側板が高い 	黒色 	

6 電源コード・アース線の接続

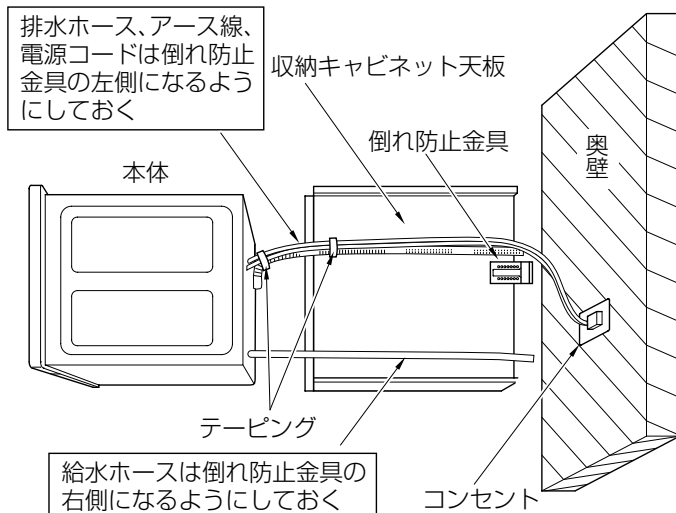
- 電圧が100Vであることを確認してから埋込みコンセントに電源プラグを差し込んでください。



上図のように差し込む

電源プラグの向きが逆です。

- アース線をアースターミナルに接続します。  
※ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には、絶対に接続しないでください。(法令等で禁止されています。)



**警告**



- 電源プラグはコードが下方方向に出るように、コンセントに奥まで確実に差し込んでください。  
上方向に出すとプラグの接触が不安定になり、異常発熱して発火する恐れがあります。

**警告**



アース線接続

- アースを確実に取り付けてください。故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
- アース工事は必ず販売店に依頼してください。

**警告**



禁止

- 電源コードを切断したり、屋内配線ケーブルと直結したりしないでください。  
感電・漏電や火災の原因となります。



禁止

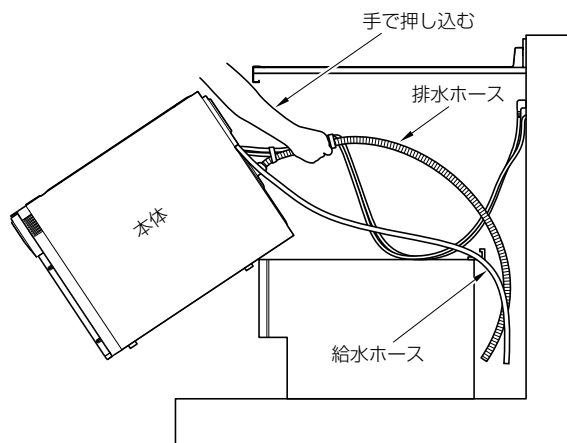
- コンセントを床面にこころがして、電源プラグを差し込み使用しないでください。  
感電・漏電や火災の原因となります。

## 7 本体のビルトイン

- 本体の後部を収納キャビネットに乗せ、前に傾けた状態で、給水ホースは倒れ防止金具の左側から押し込み、排水ホースは右側から下に押し込む。

※ 本体の下面を手でささえ、ドアは持たないようにしてください。

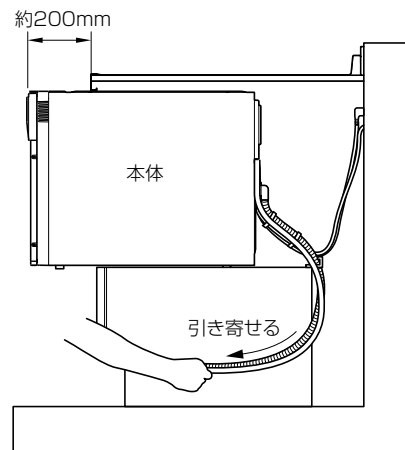
ドアをとじて開閉レバーを「とじる」の位置に動かして、ドアがロックしていることを確認してから作業を行なってください。



- 本体を収納キャビネットの上をすべらせながら押し込み、約200mmの押し込み分を残した位置で収納キャビネットの下から給水ホースと排水ホースを引き寄せる。

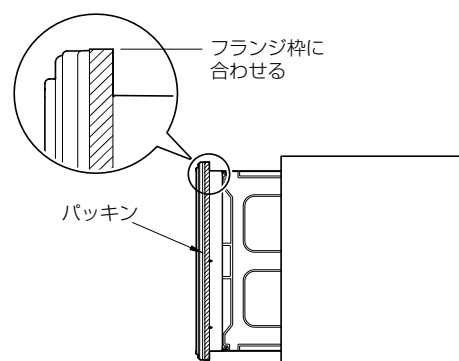
※ 本体を収納キャビネットに一気に押し込まないでください。

倒れ防止金具に給・排水ホースがかみ込みホースを傷つける恐れがあります。



- 本体天面前側にパッキン(付属品⑨)を右図のように貼り付けます。パッキンの端面が商品より外に出ないように貼り付けてください。

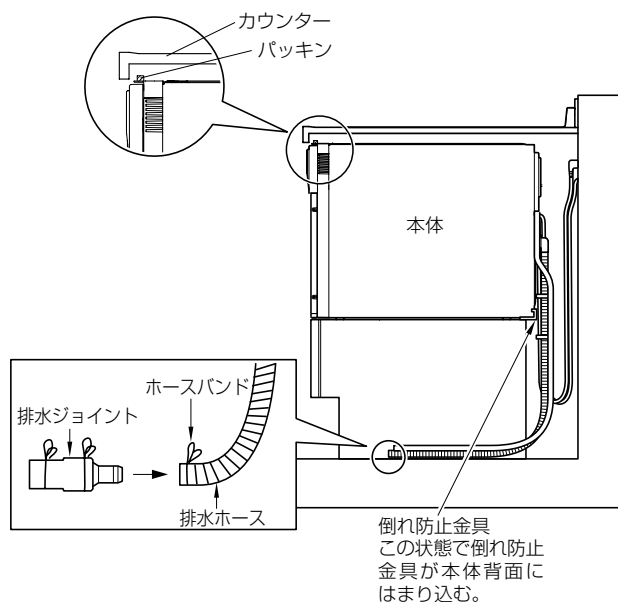
※ パッキンは、本体とカウンターの隙間を隠します。



- キッチンの側板と本体前面左右のフランジ枠が当たるまで本体を押し込む。

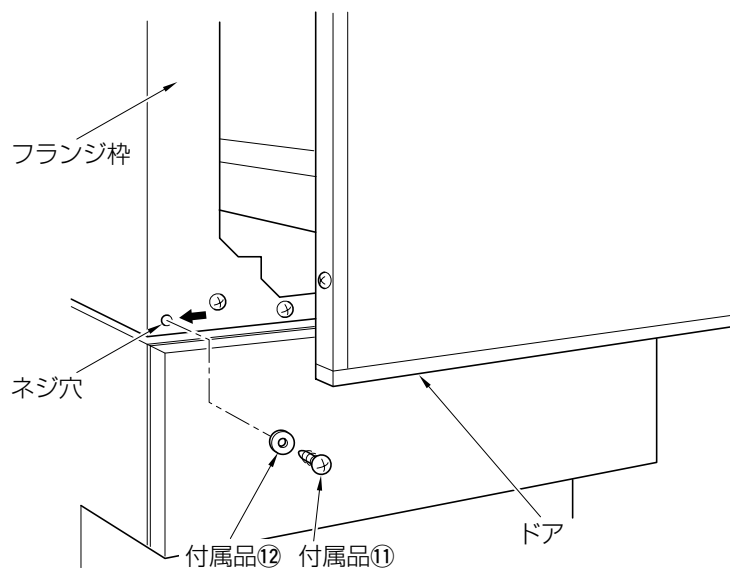
※ 隣接する機器等に注意し、本体中央をゆっくり押しビルトインしてください。

- 排水ホースに排水ジョイント(付属品⑦)を奥いっぱいまで挿入し、ホースバンド(付属品③)で止めます。



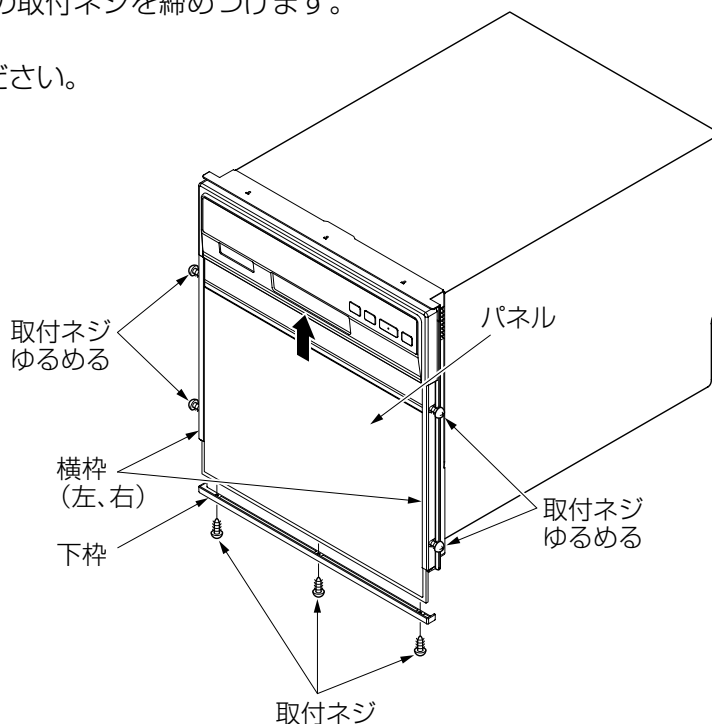
8 前ズレ防止金具のセット

- ドアを引き出して本体前面左右のフランジ枠下側のネジ穴から前ズレ防止金具のネジ穴が見えているか確認した後、ネジ（付属品⑪）に平ワッシャ（付属品⑫）を通して前ズレ防止金具に確実に固定してください。
- ※必ず、前ズレ防止金具と本体前面左右のフランジ枠とを固定してください。  
ドアの開閉などにより商品が前へ移動し、収納キャビネットから製品が落下する恐れがあります。

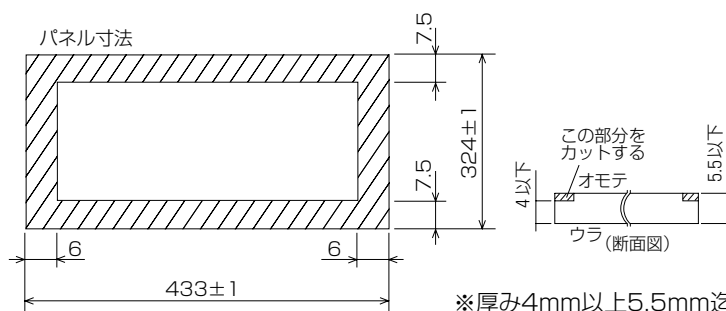


- ① 下枠取付ネジ（3本）をはずして下枠をはずします。
  - ② 横枠（左右）取付ネジ（各2本）をゆるめ、横枠を手前にスライドさせます。
  - ③ パネルを下から差し込み、横枠（左右）の取付ネジを締めつけます。
  - ④ 下枠を取り付けます。
- 注意：電動ドライバーは使用しないでください。  
パネルが変形する恐れがあります。

※パネルが下から差し込められない場合は、横枠を外してパネルを取り付けてください。



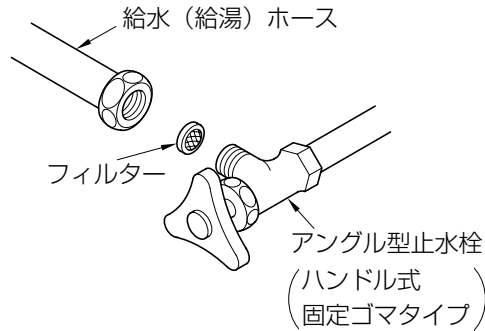
9 パネル（化粧板）の取り付け



※厚み4mm以上5.5mm迄のパネルをご使用になる場合は、斜線で指定した部分の表面を厚み4mm以内になるようにけがきカットして、取り付けてください。

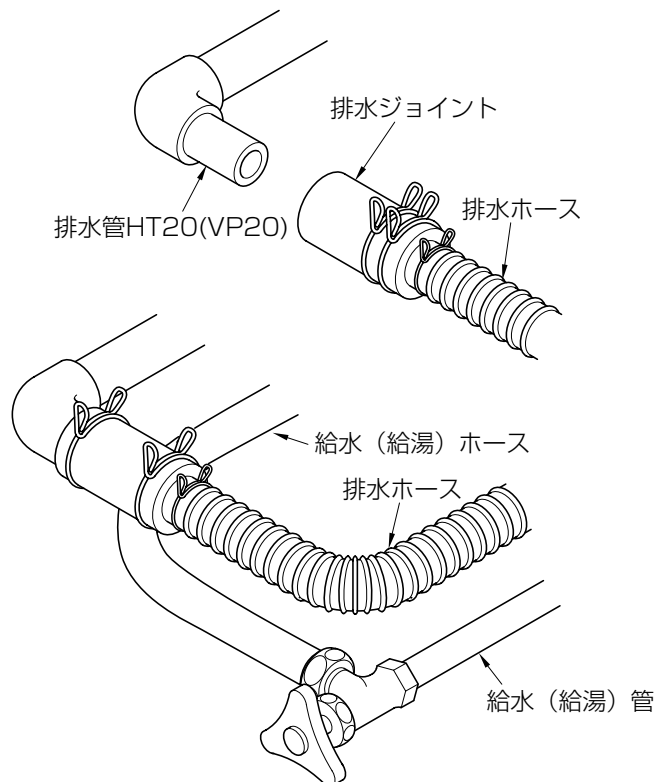
10 給水（給湯）管との接続

- アングル型止水栓（ハンドル式、固定ゴマタイプ）に付属品④のフィルターを入れて給水（給湯）ホースを確実に締め付けてください。
- ※ナットは必要以上に強く締め付けますと、フィルターが破れますのでご注意ください。
- ナットは手で軽く締め込んだあと、半回転ぐらい締め付けてください。適正締め付けトルクは、 $5\sim 10\text{N}\cdot\text{m}$  ( $50\sim 100\text{kgf}\cdot\text{cm}$ ) です。



11 排水管との接続

- 排水管HT20（VP20）に排水ジョイントを接続して、ホースバンドで固定してください。
- この時、排水ホースは給水（給湯）管や、給水ホースの上を通るように配管してください。
- ※排水ホースの折れや、ねじれがないことを確認してください。



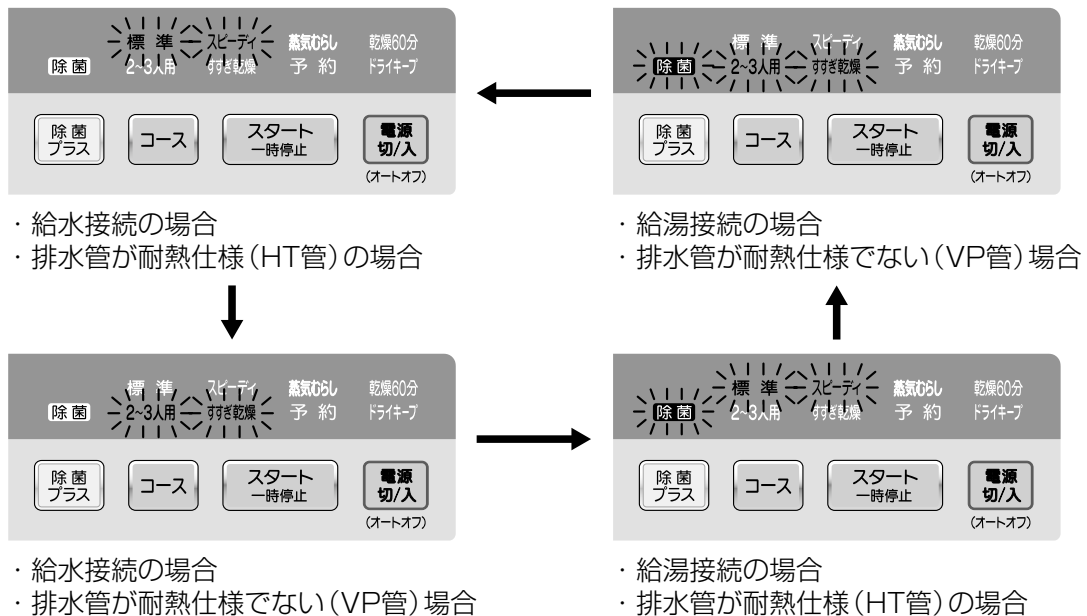
# 給水（給湯）接続、排水温度クールダウン設定

- マンション等集合住宅では、排水管が耐熱仕様でない場合があります。排水管の種類（VP管または、HT管）によって、排水温度の設定を行ってください。排水管がVP管の場合、必ず排水温度クールダウンの設定をしてください。また、給水（給湯）管を給湯器に接続された場合、給湯設定にしてください。

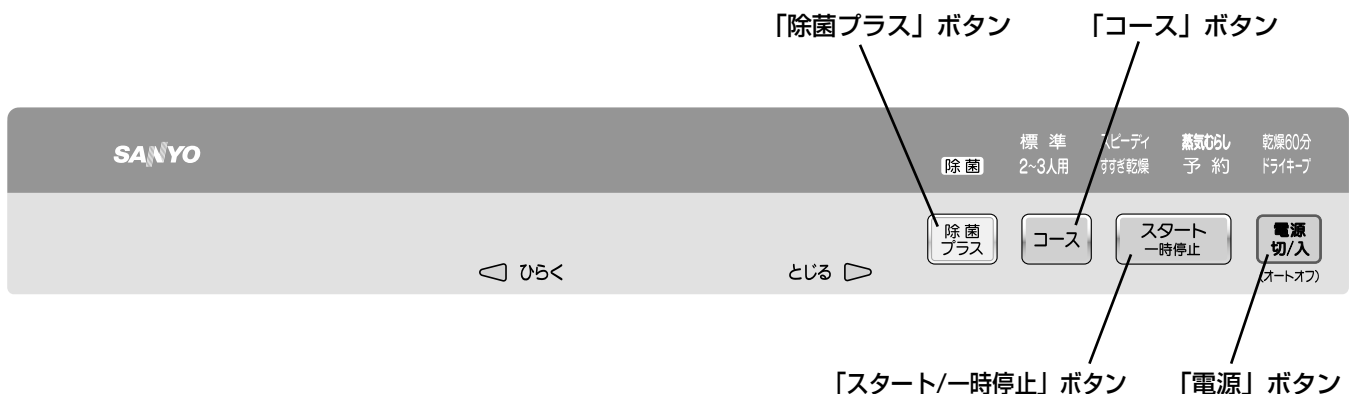
## ＜給水（給湯）設定、排水温度クールダウンの設定方法＞

- ①ドアを閉じます。（開閉レバーを「とじる」の位置に動かしてください。）
- ②「電源」ボタンを「入」にします。
- ③「コース」ボタンを押しながら、「除菌プラス」ボタンを3回押します。
- ④「コース」ボタンを離します。
- ⑤再度、「コース」ボタンを押しながら、「除菌プラス」ボタンを3回押します。
- ⑥「コース」ボタンを離します。
- ⑦「コース」ボタンを押すと表示部が下記のように切り替わりますので給湯器に接続の有無、排水管の種類（VP管またはHT管）によって、それぞれに適した設定を選択します。

### （出荷時の設定）



- ⑧「スタート／一時停止」ボタンを押して決定します。（「スタート／一時停止」ボタンを押した時点で設定が完了し、表示部の点滅が点灯に変わります。）
- ⑨「電源」ボタンを「切」にします。

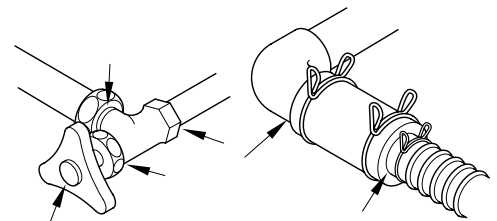


※本機のデザインは機種により若干異なります。

# 試運転

■取扱説明書に基づき、試運転を行ってください。なお、次の手順で試運転を行うと短時間で行うことができます。(食器カゴは入れて運転してください。)

- ①止水栓を開きます。
  - ②ドアを閉じます。(開閉レバーを「とじる」の位置に動かしてください。)
  - ③「電源」ボタンを「入」にします。
  - ④給湯接続の場合、給湯器の運転スイッチを入れます。
  - ⑤「コース」ボタンを押して、「スピーディ」を選びます。
  - ⑥「スタート/一時停止」ボタンを押します。
  - ⑦「スピーディ」コースが開始しますので、次の確認を行ってください。
    - 一定量の水が入ればシャワーを噴射しながら水槽内のノズルが回転します。(噴射音：シャバシャバ音がするか確認してください。)
    - 運転中に商品、給・排水接続部からの水もれがないかを確認してください。
  - ⑧「スピーディ」コースは、約35分(給湯接続約10分)で終了しますので次の確認を行ってください。
    - 運転が終了しますとブザーが鳴りますので、終了後「電源」ボタンを「切」にしてドアを開けてください。(水槽内の水が排水されていることを確認してください。確認後、止水栓を開いたままにしておいてください。)
  - ⑨再度「電源」ボタンを「入」にします。
  - ⑩「コース」ボタンを押して、「乾燥60分」を選びます。
  - ⑪「スタート/一時停止」ボタンを押します。
  - ⑫「乾燥60分」コースがスタートし、約1分後排気口から風が出てくることを確認してください。
  - ⑬「電源」ボタンを「切」にしてドアを開けて、次の確認を行ってください。
    - 水槽内に残った水が排水されていることを確認してください。
- ※給湯器の温度を高温に設定して試運転した場合は必ず元の設定に戻してください。



水漏れ確認

# 異常報知について

●試運転で以下のように表示部が点滅してブザーが鳴る場合は以下の内容を確認してください。

表示	症状	処置
	水が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源ボタンを「切」にする。</li> <li>●断水の場合は断水が回復してから運転する。</li> <li>●止水栓および水道の元栓は必ず開く。</li> </ul>
	排水されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源ボタンを「切」にする。</li> <li>●排水ホースに折れぐせがついていないか確認する。 (折れぐせがついている場合は直す)</li> </ul>
	本体から水漏れしている	<ol style="list-style-type: none"> <li>①止水栓か水道の元栓を閉じる。</li> <li>②電源(ブレーカー)を切る。</li> <li>③本体底面前方の排水口キャップを外して本体底面の水を抜く。 (排水口キャップの位置は3ページの「各部の名称および寸法図」を参照) ※排水口キャップは収納キャビネットから本体を引き出さないと外せません。</li> <li>④排水口キャップを本体底面のもとの位置にはめ込む。</li> <li>⑤電源(ブレーカー)を入れる。</li> </ol>

# 試運転後の作業

P.8の「設置工事について1. 準備」で外した収納キャビネットの引き出しおよび点検口のフタを元の状態になるように取り付けてください。

# 設置工事後の点検

## ●チェックリスト

点 検		点 検 内 容	参照項目	チェック
周辺商品	電源（電圧・周波数）	使用電源は100Vになっていますか。	5ページ	
	ドアの開閉	他の商品への障害はありませんか。	4ページ	
	倒れ防止金具 前ズレ防止金具	倒れ防止金具および前ズレ防止金具は取り付けましたか。	8ページ 9ページ 12ページ	
	給湯器との接続の場合	指定する給湯器に接続されていますか。	6ページ	
給水(給湯)・排水接続	フィルター	給水（給湯）ホース接続部にフィルターを挿入しましたか。	13ページ	
	排水ホース	排水管との接続部は確実にホースバンドをし、接続したことを確認しましたか。また押しつぶされたり、無理に折れ曲がったりしていませんか。	9ページ 11ページ 13ページ	
	給水(給湯)排水温度の設定	給水（給湯）、排水温度の設定は、配管に適した設定になっていますか。	14ページ	
電気接続		電源コンセントは専用回路で、電源プラグは125V 15Aのアースターミナル付き埋込みコンセントに接続しましたか。	5ページ 10ページ	
		アース線を接続しましたか。	10ページ	
試 運 転		試運転を行い、正常に動作しましたか。	15ページ	

# 仕様

仕様は、商品改良のため予告なく変更することがあります。

給・排水接続方式	給・排水管直結タイプ
電 源	交流100V 50/60Hz
消 費 電 力	洗淨モーター ● 洗淨時：155W/190W (50/60Hz) ヒーター 1080W 最大消費電力 1235/1270W (50/60Hz)
外 形 寸 法	(幅) 447mm×(奥行) 620mm×(高さ) 450mm
製 品 質 量	22kg
水 道 水 圧	0.03~1MPa (0.3~10kgf/cm <sup>2</sup> )
洗 淨 方 式	回転ノズル方式
すすぎ方式	ためすすぎ方式
乾 燥 方 式	強制排気乾燥方式
洗 淨 温 度	洗淨約60℃、加熱すすぎ約70℃ (標準コース) / 80℃ (除菌プラス設定時)
標 準 食 器 容 量	40点

# お客さまへの取扱い説明

- ①取扱い説明書によって商品の取扱いを説明してください。
- ②外装箱に保証書が付いていますので「製造番号・お買い上げ日・販売店名」などの必要事項を記入のうえ、保管のお願いをしてください。

## 三洋電機株式会社

ホームエレクトロニクスグループ HAカンパニー 住設システム統括ビジネスユニット  
〒520-2198 滋賀県大津市瀬田1丁目1番1号